

平成13年11月27日

## 平成14年3月期連結中間決算の概要について

シロキ工業株式会社

(輸送用機器 東証、名証第1部上場)

平成14年3月期連結中間決算につきまして概要をご説明させていただきます。

(個別につきましては10月31日に発表をしております。)

### 1、 中間決算概要について

[子会社の事業見直しで9.4%減収、

主力の自動車部品分野は0.3%の微減]

●当社の連結対象会社は国内6社、海外4社の計10社で、他に持分法適用関連会社が2社あります。

上半期の連結売上高は484億3千1百万円で、期初予想(479億円)に対し5億3千1百万円増で、1.1%の増収となりました。しかしながら前年同期比では50億4千1百万円減の9.4%の減収となりました。これは個別シロキ工業の売上11億9千4百万円減の他、主としてグループ経営の効率化を進めるべく子会社の事業を見直し前期に子会社の清算および不採算部門からの撤退したことなどが大きく影響したからです。主力の自動車部品分野は456億1千4百万円で前年同期比0.3%減とわずかながらの減少でしたが、非自動車分野が28億1千6百万円と前年同期比で63.5%減と大きく減少しました。

[期初予想に対しグループ経営の効率化で大幅増益]

●利益につきましては、営業利益9億9千7百万円と期初予想(8億円)に対し1億9千7百万円増で、24.6%の増益、また経常利益は9億2千1百万円と期初予想(4億円)に対し5億2千1百万円増で、130.2%の増益とすることができました。これは主として子会社事業の見直しによる、グループ経営の効率化を進めた効果及び徹底した原価改善活動と為替差益によるものです。

[前年同期比では減益]

●しかしながら前年同期比では、個別シロキ工業の営業利益が売上減や売価変動などによる影響と退職給付費用の増加により前年同期比4億5千3百万円の減益が影響し、営業利益は4億5千4百万円減の31.3%の減益となりました。

#### ●連結中間期実績

上段当中間期・下段前年同期

- ① 売上高：  
484億3千1百万円  
534億7千2百万円  
(△50億4千1百万円)  
(前年同期比9.4%減)
- ② 営業利益：  
9億9千7百万円  
14億5千2百万円  
(△4億5千4百万円)  
(前年同期比31.3%減)
- ③ 経常利益：  
9億2千1百万円  
9億6千7百万円  
(△4千6百万円)  
(前年同期比4.8%減)
- ④ 特別利益：  
6億8千8百万円  
37億3千1百万円  
(△30億4千3百万円)  
\*参考：固定資産売却益  
6億8千1百万円  
\*参考：退職給付信託設定益  
△37億3千1百万円
- ⑤ 特別損失  
15億9千6百万円  
105億8千1百万円  
(△89億8千4百万円)  
\*参考：固定資産除却損  
7億3百万円  
\*参考：退職給付費用  
△100億5百万円
- ⑥ 中間(当期)純利益：  
1億2千9百万円  
△32億6千7百万円  
(33億9千7百万円)

自動車部品分野の営業利益は12億5千5百万円で前年同期比12.2%の減、非自動車分野の営業利益は1億5千4百万円で前年同期比66.4.3%増となり大きく改善しました。

経常利益は、SWマニュファクチャリング（米国テネシ州）の円安による為替差益3億5千9百万円を計上し、営業利益の減少をカバーしたものの、前年同期比で4千6百万円減の4.8%減益となりました。

### [最終損益は前年△32億6千7百万円から

### 1億2千9百万円に改善]

●最終損益につきましては、退職給付費用62億7千4百万円減と東京デポ（元東京工場）の土地一部売却による固定資産売却益など特別利益6億8千8百万円がありましたが、財務体質強化のため固定資産除却損として7億3百万円、製品不具合に対する補償費として4億円、退職給付費用（退職給付会計基準変更時差異の償却）として3億3千8百万円などにより、特別損失15億9千6百万円を計上いたしました。これにより、前年同期の32億6千7百万円の間接損失に対して1億2千9百万円の間接純利益と改善することができました。

## 2、 通期業績予想について

### [昨期29億8千1百万円の損失から

### 7億円の純利益を予想]

●通期業績予想につきましては、米国の同時テロの影響により世界的な景気と企業収益の悪化が懸念され依然厳しい経営環境が予想されます。

通期売上高は978億円の前年実績に対し5.2%の減収、通期営業利益につきましては、23億円の27.8%減、また通期経常利益は35.2%減の20億円を予想しています。最終損益につきましては、退職給付費用62億8千1百万円減などによる特別損益の改善により、通期で当期純利益7億円を予想しています。

#### \*ご参考

#### ●自動車部品分野（下段は前年同期）

①売上高：  
456億1千4百万円  
457億5千1百万円  
（前年同期比0.3%減）

②営業利益：  
12億5千5百万円  
14億3千1百万円  
（前年同期比12.2%減）

#### ●非自動車分野（下段は前年同期）

①売上高：  
28億1千6百万円  
77億2千1百万円  
（前年同期比63.5%減）

②営業利益：  
1億5千4百万円  
2千万円  
（66.4.3%増）

#### ●連結通期予想

（上段予想、下段前期実績）

①売上高：  
978億円  
1、032億2千8百万円  
（前年同期比5.2%減）

②営業利益：  
23億円  
31億8千5百万円  
（前年同期比27.8%減）

③経常利益：  
20億円  
30億8千5百万円  
（前年同期比35.2%減）

④当期純利益：  
7億円  
△29億8千1百万円